

課題

【算数】式や図を言葉で説明することが苦手

手立て

次の3つの活動に様々な単元において取り組む

POINT① 自力解決において、考えを、式・図・言葉で表現する

POINT② ペアやグループでの対話を取り入れ、表現力を高める

POINT③ 全体共有の場で児童の考えをつなぐ

具体例

POINT① 自力解決において、考えを、式・図・言葉で表現する

○低学年から図・言葉でも考えを表現する

- ・具体物操作→解決の過程を図で表現する。
- ・問題場面に沿って図に表す。

○式、図、言葉を関連付ける

- ・色分け、ナンバリングなどをし、言葉での説明が図や式とどのように関連しているのかを分かりやすくする。
- ・自力解決後の学び合いを想定し、分かりやすく表現する。

【様々な図】

ブロック図 ○の図 テープ図
線分図 数直線 関係図
液量図 面積図 ペン図 等

POINT② ペアやグループでの対話を取り入れ、表現力を高める

- ・全員が考えを説明する機会を持ち、アウトプットすることにより、自分の考えを確実なものにする。
- ・説明する、質問される、答えるというやりとりによって、よりよい説明になる。

○同じ考えをもつ児童同士の対話の例

- ・それぞれの表現を比べ、検討し、より分かりやすい表現へと高める。

○異なる考えをもつ児童同士の対話の例

- ・友達の書いた図や式だけを見て、どのように考えたのか推測し、説明する。

Aさんの説明は、
図と関連付けて
あって分かり
やすいね。

どちらの図の方
が分かりやすい
かな？



POINT③ 全体共有の場で児童の考えをつなぐ

- ・Aが書いた図を見て、Bが式を立て、Cが説明をする、などの児童の考えをつなぐ活動を行い、説明する力を高める。